

「新たな教職員の学び」実現に向けた校内研修の充実

子供たちの学びの改革が進む中、教職員にも主体的・探究的に学び続ける姿勢が求められています。特に、一人一人の教師の強みや個性に即した「個別最適な学び」と、他者との対話や振り返りなどを通じた「協働的な教師の学び」が重要視されています。このことは、「教師の学び」と「子供の学び」が相似形であることを示しています。

昨年、本研究では、先生方が校内で学び合いを深められるよう、**経験と対話を基盤とした具体的な校内研修のアイデアを提案**しました。

今年度は、校内研修を推進している学校が、どのように計画し、時間を生み出しているのかを調査し、そこから見えてきた校内研修を充実させるための視点や手立てを提案します。

1 校内研修に取り組んでいる学校の事例

校内研修に取り組んでいる学校を視察したり、研修を担当している先生に聞き取り調査をしたりしてきました。その調査から、特徴的な取組をしている事例を紹介します。

【事例1】当センター提案の材を用いた校内研修

■PRS※を手がかりにした個人の振り返りを通じた研修

事前にPRSに自身の実践や思いを書き出し、振り返りを行う。短時間で準備できる形とし、教員の負担感を抑えている。

■職員会の中に位置づけた、振り返りと対話の場

職員会の時間を活用し、3~4人のグループで対話する。互いの思いを否定せず、背景にある考えに目を向け聴き合う。

■対話を通して見えてきた気付きと、同僚性への広がり

悩みやもやもやを語ることで、安心感が生まれる。得られた気付きを、実践や関係づくりにどうつなげるかが課題である。

※PRS…令和6年度 本研究提案のプラティカル・リフレクション・シート（右図）

6/18職員研修 リフレクションシート

学級づくりへの思いや願い

児童の姿や自分の姿で、うまくいったな、よかったなど感じていること

児童の姿や自分の姿で、うまくいかないなど感じていること

学級づくりでもやもやしていること

【事例2】係が年間で計画して取り組む校内研修

■探究的な学びを保证するための研修

総合的な学習の時間に役立つ研修を、校務分掌に位置付けた係が企画運営をする。数学の先生の統計講座やICT教育など、色々な先生が得意なものを担当して、主役として活躍する。

■月に2回、職員会終了後や会議のない水曜日に設定

年間で研修日を設定し、計画的に取り組む。係が職員のニーズを捉え、内容を臨機応変に設定している。

■子供の姿が変わった

子供の姿を見て手応えを感じ、研修に前向きに向かっている。大学の先生に、参観して評価をいただいたり、最新の情報を話していただいたりして、外部の考えも取り入れている。

【事例3】実践に生きる先生方のニーズで取り組む校内研修

■職員のニーズを集めて設定する研修

新卒の先生の悩みを共有し、先輩の先生が自分の取組を紹介したことから始まった。職員アンケートで、学びたいことを募って開催している。内容によって、参加したい先生が自主的に参加している。

■これまでに取り組んだ研修

○グループ学習 ○板書のコツ ○学びの必要感
○授業で使える生成AI ○Excel・iPadの操作 など

■研修を通して

学びたい・力を伸ばしたいという先生方の気持ちを大切に時間を生み出している。ニーズを募っているので、すぐ実践する先生が多い。非常勤の先生等、参加できなかった先生も後から内容を聞いて実践することもある。

2 対話が生まれやすい雰囲気が醸成される校内研修の取組の分類

事例から校内研修の取組を分類し、3つの視点で整理しました。校内研修を企画する際に参考にしてください。

【視点1】校内研修の設定

《定例型》

隔週○曜日など、日課に組み込んでおく。

《創出型》

時間ができた放課後、計画休業に設定する。

《併用型》

日課に組み込み、年間で計画しているものと、時間があるときに設定するものを併用して行う。

【視点2】研修運営者

《分掌型》

係を設定し、企画・運営（担当者は係から依頼）する。

《自発型》

教務係等が内容を募り、企画・運営する。

《併用型》

分掌で決めた係が進めるものと自発的に研修を企画したものを併用する。

【視点3】校内研修の内容

《指示伝達型》

非違行為防止など職員会議の中で管理職・教務が行う。

《計画型》

学校として必要な内容を適切な時期に計画して行う。

《提案型》

先生方のニーズを募って、得意な先生が進める。

《併用型》

日程は計画に入れておくが、内容はその時々で募る。

【まとめ】研修の効果と課題

《効果》

- 計画的に継続して行うことで校内研修が前向きになる
- 先生方のニーズで行うと、すぐに実践できる
- 簡単な資料を用意した対話的な研修

《課題》

- 計画した内容とニーズ
- 係を設定しない場合の持続可能な取組にする手だて
- 参加しない先生をどう巻き込むか

3 年間計画作成に関わる提案

県内各校の校内研修の取組を調査した結果を踏まえ、各学校の校内研修の充実を図るため、総合教育センター所員が年間計画作成に関する研修を行いました。その方法を紹介します。

校内研修計画作成研修

- ① 年間研修テーマを決め、模造紙（ICTの利用も）に項目を書く。（図1）
- ② 各自で今年学びたい・話したい内容を付箋に書き出す。
- ③ グループで「すぐに実践したいもの」「できればやりたいもの」に分けて配置する。（図2）
- ④ 他グループの計画を見合い、研修係が年間計画を作成する。

図1

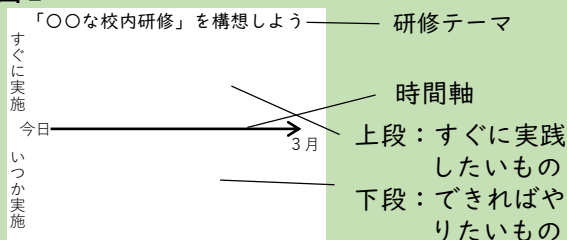
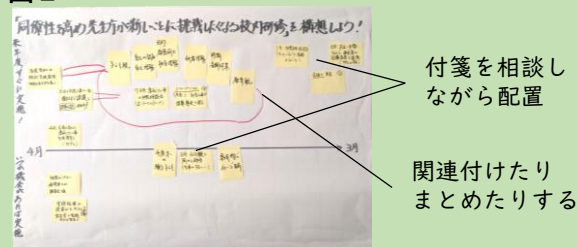


図2



校内研修を大切にしている学校は多く、様々な工夫をしながら取り組んでいます。共通している点には、学校種によらず下のような傾向が伺えます。

- 教職員がどのように成長していくか、困り感をどう軽減するか
- 子供たちの学びに活かせる実践的なもの
- 対話を大事に、柔らかな雰囲気
- 時間を生み出すための工夫、持続可能なシステムの構築
- トップダウンではなく、先生方のニーズを大切に研修を構築

教職員の成長は、子供たちの成長につながります。各校の校内研修がより充実するよう、来年度も新たな視点で研究を進めてまいります。